

# いのちの言の葉 2019

富山県教育委員会 令和元年度いのちの教育総合支援事業

## いのちの先生「元小学校教員」

「今もあらちゃんと一緒に」  
氷見市立西部中学校  
令和元年10月3日実施

この「いのちの先生」は、以下の学校でも授業  
をされています。

南砺市立井口小 7/9、南砺市立福光東部小 9/6、  
射水市立片口小 10/31、

### 【授業の概要】

- ① あらちゃんとの出会い
- ② つながる命
- ③ あらちゃんが生きている意味
- ④ あらちゃんがくれた幸せ



### (授業から感じたこと)

今の私がどんなに幸せか改めて知りました。  
毎日、毎日、障害のある子供を大切に育てているいのちの先生を見て、私は将来、自分に子供ができたらちゃんと育ててあげようと決めました。どんな障害があっても家族は家族。仲のよい先生の家族がとてもすてきだと思いました。  
今日の講演を聞き、一人一人に生きる意味があることを知りました。

### (授業から感じたこと)

私が一番印象に残ったことは、あらちゃんの弟のすうちゃんが言った「あらちゃんは僕の宝物」という言葉と、あらちゃんが見せた「最高の笑顔」です。  
すうちゃんの言った言葉を聞いて、私は兄弟愛を感じました。あらちゃんにとっても、すうちゃんが宝物なのではないかと思いました。遺影の写真もいい笑顔だと思いました。  
私は、今までよりも命を大切にして、毎日、挑戦してみようと思いました。

### (授業から感じたこと)

たんをとったり、水を飲ませたり、周りの人の支援もすごいと思いました。優しい人もいれば、批判する悪い人もいて、それでも助けようとする人の温かさが心に響きました。  
私のお母さんは、障害者に関わる仕事をしていて、今日も疲れたと言って仕事から帰ってきます。トイレに行かせたり、風呂に入るのを手伝ったり・・・きっと、いのちの先生は、それ以上に苦勞なされているんだと思いながら聞いていました。  
私は、今回のお話を聞いて、命の大切さを見直すことができました。これからも一日一日を大切に過ごしたいです。

### (授業から感じたこと)

私は、今日の講演を聞き、普段何も考えずに、疲れたら弱音をはき、辛いことがあったらすぐに周りを頼ってしまう自分を恥ずかしく感じました。普段考えることがあまりない命の大切さについて深く考えることができました。  
私も先生のように前向きに明るく生きられるようにがんばります。そして、あらちゃん、天国でも元気にね。